

かん い しゅうにゆう しょ とく み こみ がく もうし たて しょ か けい きゅう へん せ たい 簡易な収入(所得)見込額の申立書【家計急変世帯】

き にゅう れい おもて めん 記入例〈表面〉

- 太枠線内の該当項目を黒のボールペンなどで、はっきりと正確にご記入ください。
- 消せるタイプのペンや鉛筆の使用はできません。
- 記入欄が不足する場合は、コピーを取り使用してください。

ア 申請書の「②申請者が属する世帯の状況」に記載した方のうち、令和5年度住民税が課税の方すべての状況を記載してください。

記載例.1 (収入で申請)

イ ③欄には、収入の減少があった月を、④欄には、その月の収入を、⑤欄には、 $D \times 12$ の額を記載して下さい。

ウ この方が扶養する人数を(扶養控除等申告書等に記載の人数)を記載し、

エ 下表から、①欄の人数に対応する区分の非課税相当収入限度額を確認し、**オ** この額を⑥欄に記入して下さい。

カ 非課税相当額収入限度額(⑥欄)と年間収入見込額(⑤欄)を比較して、⑤の額が⑥の額以下であれば支給対象となります。
(裏面は記入不要)

記載例.2 (所得で申請)

キ 記載例.2の場合、非課税相当額収入限度額(⑥欄)と年間収入見込額(⑤欄)を比較して、⑤欄のほうが高いため、所得による申請をしてください。
(裏面を記入)

別紙 かん い しゅうにゆう しょ とく み こみ がく もうし たて しょ か けい きゅう へん せ たい 簡易な収入(所得)見込額の申立書【家計急変世帯】

○「令和5年度いたばし生活支援臨時給付金(追加分)申請書(家計急変世帯分)」と一緒にご提出ください。

1 申請書の「②申請者が属する世帯の状況」に記入した方のうち、令和5年度住民税が課税の方すべてを記入してください。

フリガナ 氏名	左欄の者が扶養する者の数 ①	障害者控除等の適用 ②	収入の減少があった年月 ③	任意の1か月の収入④			年間収入見込額 [D]×12 ⑤	非課税相当収入限度額 ⑥
				給与収入 [A]	事業収入または不動産収入 [B]	年金収入 [C]		
○ヤマ ○オ	1	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年 1月	収入合計額 A+B+C=[D] 120,000円	120,000円	0円	D×12 1,440,000円	1,560,000円
○山 ○夫	0	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input checked="" type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年 1月	収入合計額 A+B+C=[D] 120,000円	0円	0円	D×12 1,440,000円	1,560,000円
○ヤマ △コ	0	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input checked="" type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年 1月	収入合計額 A+B+C=[D] 0円	0円	0円	D×12 0円	0円
○山 △子	0	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input checked="" type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年 1月	収入合計額 A+B+C=[D] 0円	0円	0円	D×12 0円	0円

記載例.1 (収入で申請) ※令和5年1月以降の任意の1か月の収入で申請する場合

1 申請書の「②申請者が属する世帯の状況」に記入した方のうち、令和5年度住民税が課税の方すべてを記入してください。

フリガナ 氏名	左欄の者が扶養する者の数 ①	障害者控除等の適用 ②	収入の減少があった年月 ③	任意の1か月の収入④			年間収入見込額 [D]×12 ⑤	非課税相当収入限度額 ⑥
				給与収入 [A]	事業収入または不動産収入 [B]	年金収入 [C]		
○ヤマ ○オ	1	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年 1月	収入合計額 A+B+C=[D] 0円	140,000円	0円	D×12 1,680,000円	1,560,000円
○山 ○夫	0	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input checked="" type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年 1月	収入合計額 A+B+C=[D] 0円	0円	0円	D×12 1,680,000円	1,560,000円
○ヤマ △コ	0	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input checked="" type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年 1月	収入合計額 A+B+C=[D] 0円	0円	0円	D×12 0円	0円
○山 △子	0	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input checked="" type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年 1月	収入合計額 A+B+C=[D] 0円	0円	0円	D×12 0円	0円

記載例.2 (所得で申請)

記入上の注意

- ①「左欄の者が扶養する者の数」欄には、同居・別居にかかわらず、左欄の者が令和5年度住民税において控除対象となっている扶養親族の数を記入して下さい。(扶養控除等申告書で届け出ている人数、令和5年度課税証明書に記載されている人数)
- ②「障害者控除等の適用」欄は、該当する控除を受けている場合には、チェック して下さい。
- ③「収入の減少のあった年月」欄には、住民税非課税相当の収入であった令和5年1月から令和5年12月の間の任意の1か月の月を記入してください。
- ④「任意の1か月の収入」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和5年1月から令和5年12月の間の任意の1か月の収入を記入してください。

本給付金申請における収入の種類	ご提出いただくもの
給与収入	給与明細書、給与が振り込まれたことが分かる通帳等の写し(コピー) ※上記「④収入の減少があった年月」に振り込まれたものをお送りください。
事業収入または不動産収入	帳簿、該当収入が振り込まれたことが分かる通帳等の写し(コピー) ※上記「④収入の減少があった年月」に振り込まれたものをお送りください。
年金収入	年金決定通知書、年金額改定通知書、年金届通知書、振込通帳など、支給額がわかる書類の写し(コピー) ※通帳の写し(コピー)は、上記「④収入の減少があった年月」、またはその前月に振り込まれたものをお送りください。
上記収入がない時	上記「④収入の減少があった年月」、および上記収入が振り込まれた最後の月の通帳等の写し(コピー)

- ⑤「年間収入見込額」欄には、[D]欄(収入合計額)を12倍した金額を記入してください。
- ⑥「非課税相当収入限度額」欄には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当収入限度額を記入してください。

扶養親族の状況	非課税相当収入限度額
単身又は扶養親族がない場合	100.0万円
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	156.0万円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	205.7万円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	255.7万円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	305.7万円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	204.3万円

※限度額を超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用します。
くわしくは、いたばし生活支援臨時給付金コールセンター(03-6630-5976)にお問い合わせください。

所得により申請する場合は、引き続き、裏面を記入してください

かん い しゅうにゆう しょ とく み こみ がく もうし たて しょ か けい きゅう へん せ たい 簡易な収入(所得)見込額の申立書【家計急変世帯】

き にゅう れい うち めん 記入例(裏面)

- 太枠線内の該当項目を黒のボールペンなどで、はっきりと正確にご記入ください。
- 消せるタイプのペンや鉛筆の使用はできません。
- 記入欄が不足する場合は、コピーを取り使用してください。

2 所得により申請する世帯員について記入してください。 (※収入により申請する世帯員は記入不要です)

記載例.1 (収入で申請)

収入により申請する世帯員は記入不要。

フリガナ	氏名	年間収入見込額 (5)	給与所得控除額 (7)	事業収入等の経費 (8)	公的年金等控除 (9)	年間所得見込額 (10)	非課税相当所得限度額 (11)
1						⑤ - (⑦ + ⑧ + ⑨)	
2						⑤ - (⑦ + ⑧ + ⑨)	

記載例.1 (収入で申請する場合、本欄の記入は不要)

記載例.2 (所得で申請)

所得により申請する世帯員は記入してください。

表面⑤欄の年間収入見込額を転記してください。

各欄に該当する控除額を記入してください。

下表から、扶養人数に対応する区分の非課税相当所得限度額を確認し、この額を⑪欄に記入してください。

年間所得見込額を計算し、⑩欄に記入してください。
年間所得見込額 = ⑤収入額 - (⑦給与所得控除額 + ⑧事業収入等の経費 + ⑨公的年金控除)
非課税相当所得限度額(⑪欄)と年間所得見込額(⑩欄)を比較して⑩の額が⑪の額以下であれば支給対象となります。

フリガナ	氏名	年間収入見込額 (5)	給与所得控除額 (7)	事業収入等の経費 (8)	公的年金等控除 (9)	年間所得見込額 (10)	非課税相当所得限度額 (11)
1	ヤマ オオ 山 夫	1,680,000	0	700,000	0	980,000	1,010,000
2						⑤ - (⑦ + ⑧ + ⑨)	

記入上の注意

- ⑤「年間収入見込額」欄には、表面の年間収入見込額(⑤欄)の額を転記してください。
- ⑦「給与所得控除額」欄には、以下の算定式により控除額を計算のうえ、ご記入ください。

表面[A]×12の額(給与収入分)	控除額
162.5万円以下	55万円
162.5万円超180万円以下	給与収入×40%-10万円
180万円超360万円以下	給与収入×30%+8万円
360万円超660万円以下	給与収入×20%+44万円

⑧「事業収入等の経費」

1. 事業収入または不動産収入を記入した方は、当該収入のために要した経費の12か月相当額をご記入ください
2. 帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。

⑨「公的年金等控除」の欄には、以下の算定式により控除額を計算のうえ、ご記入ください。

(65歳未満の方)

公的年金等収入分	控除額
60万円以下	公的年金等収入分的全額
60万円超130万円未満	60万円
130万円以上410万円未満	公的年金等収入分×0.25+27万5千円
410万円以上770万円未満	公的年金等収入分×0.15+68万5千円

(65歳以上の方)

公的年金等収入分	控除額
110万円以下	公的年金等収入分的全額
110万円超330万円未満	110万円
330万円以上410万円未満	公的年金等収入分×0.25+27万5千円
410万円以上770万円未満	公的年金等収入分×0.15+68万5千円

⑩「年間所得見込額」の欄には、以下の算定式により計算のうえ、ご記入ください。

⑩年間所得見込額 = ⑤年間収入見込額 - (⑦給与所得控除額 + ⑧事業収入等の経費 + ⑨公的年金等控除)

⑪「非課税相当所得限度額」には、表面⑪欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当所得限度額を記入してください。

扶養している親族の状況	非課税相当所得限度額
単身又は扶養親族がない場合	45.0万円
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	101.0万円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	136.0万円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	171.0万円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	206.0万円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	135.0万円

※限度額は左の見表から、表面⑪欄の「左欄の者が扶養する者の数」に応じた状況に対応する欄の金額を記入してください。
※下表の「扶養している親族の状況」は、「申請者本人」「同一生計配偶者(所得金額48万円以下の者)」「扶養親族(16歳未満の者も含む)」の合計人数です。

※限度額を超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用します。
くわしくは、いたばし生活支援臨時給付金コールセンター(03-6630-5976)にお問い合わせください。